

保育士

柏児童相談所



坂本 実結

Sakamoto Miyu

平成29年度
採用



異動経歴

H29年採用 富浦学園

H31年 市川児童相談所

R5年 柏児童相談所

Q1 あなたが採用された職種の魅力について教えてください。

虐待や止むを得ない事情があり家庭で過ごせなくなってしまった子どもたちを一時保護し、入所中の生活支援をします。子どもたちが安心して過ごせる環境が整い、退所に至るまで、子どもたちに寄り添い一緒に生活します。千葉県未来を担う子どもたちやその家族の未来を守る大切な仕事だと思っています。

Q2 仕事の内容とやりがいを感じる瞬間について教えてください。

児童相談所に一時保護された2歳から18歳のこどもの生活支援をしています。保育士職は幼児の対応に入ることが多く、保育所や幼稚園とは異なり、一日を通して子どもたちと関わります。遊びや食事だけでなく、入浴や入眠の介助なども行うためこどもの成長を日々感じることができ、やりがいを感じます。できることが増えたときは必ず記録に残し、児童福祉司を通じて保護者の方に伝えるようにしています。

Q3 千葉県を選んだ理由を教えてください。

大学生の時の施設実習で富浦学園に行ったことがきっかけです。施設というと厳しいようなイメージを持つかもしれませんが、はじめは私もそうでしたが、毎日子どもたちと一緒に過ごし、たわいもない会話で笑いあったり、施設内外でのイベントのために職員と子どもたちが一丸となって取り組む姿に心を打たれました。実習後に千葉県の保育士について調べ、いつか自分も富浦学園や児童相談所、生実学校で働きたいと思いました。

Q4 職場の雰囲気について教えてください。

職員同士の関係が良く、オンオフのしっかりした職場だと思います。異動して一年目ですが、仕事に関してはわからないことや困ったことがあればすぐに聞くことができ、解決できます。職員同士のコミュニケーションも取れているため情報共有も密にできています。緊張した場面では軽く冗談を言い合い、自然と笑顔になってしまいます。

Q5 仕事をする上で心掛けていることを教えてください。

子どもたちの変化に気が付けるよう心掛けています。子どもたちにとって児童相談所に保護されることは大きな変化です。今までの生活環境とは異なり、初めて会う職員や子どもたちと衣食住を共にすることは不安や戸惑いがあります。子どもたちの表情の変化にいち早く気が付き、支援することで、安心感を得るだけでなく信頼関係を築いていけるよう努めています。

Q6 仕事の中で難しく感じていることや苦勞したこと、大変だったことを教えてください。

こどもの育ってきた環境や置かれている状況は一人一人違います。そのためこどもたちにとっての「普通」が世間一般の「普通」と違うことが多々あります。食事のマナーが身についていなかったり、言葉遣いや物の使い方など悪気がなくとも乱暴になってしまうことがあります。自分にとっての「普通」をこどもたちに押し付けず、こどもたちが責められていると感じないような言葉かけや対応をすることが仕事を始めたころは特に苦勞していました。

Q7 あなたの考える千葉県の魅力を教えてください。

自然が豊かで名産品が多く、誇れるものが多いところです。こどもたちにも千葉県の良いところを知ってもらいたいので自然の話をしませんが、皆興味をもって聞いてくれます。

Q8 休日や退庁後の余暇の過ごし方について教えてください。

児童相談所の保育士の勤務は日勤だけでなく、遅番、夜勤、夜勤明けとあります。変則的な勤務ですので生活リズムが乱れないよう、まずは体を休めることを第一としています。そしてゆっくり休んだ後は漫画を読んだり、ゲームをしたりと自分の趣味の時間をとることで充実した余暇を過ごしています。シフト制ですので平日が休日になることもあり、混雑を避けてショッピングやイベントに行くのも良い気分転換になります。

Q9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

千葉県の保育士はこどもたちと運動することが多く、運動神経が良いとこどもたちから一目置かれます。中高生に負けないような体力が欲しいのでランニングを日課にしたいです。

Q10 受験者へのメッセージをお願いします。

決して簡単な仕事ではありませんが、やりがいや信念をもってできる仕事です。千葉県の未来を担うこどもたちのために一緒に働ける日を待っています。

MY SCHEDULE

08:30	出勤・夜勤者からの引継ぎ	13:00	行動記録の作成、洗濯
09:00	幼児と所庭遊び	15:00	幼児の自由遊びの援助
10:30	幼児の入浴介助	16:00	事務作業や明日の準備
11:30	幼児の食事介助	17:15	退庁
12:00	昼食		

